

さっぽろ環境インタープリター養成プログラム  
 第8回（11月20日(金)実施）大沼 進氏 講演  
 ～「ひとが行動に移るきっかけとは？」～実施アンケート

問い：【ひとが行動に移るきっかけとは？】の講座ではどんなことを得る事ができましたか？

1	興味深くお聞きしました。小学校でもフードリサイクルをやっています。普通の毎日の中のゴミ、レジ袋、いろいろと視点がかわりました。ありがとうございました！
2	身近なお話を取入れた内容で、分かりやすかった。`電気+ガス`が一番CO2を排出しないとは意外。
3	学問的なことも身近にイメージできることを用いて伝えることでしっかり伝わるということ。有料化が有料化に意味がなく本来の重点の実践の手段に過ぎないこと。この仕組みづくりの過程についても。
4	議論のテーマの設定の仕方によって、個人の捉え方が変わり、参加（関わり方）が変わってくるのが勉強になりました。話を聞いてそこから聞いた側もアクションを起こすことでルールを受けやすくなるということ学びました。`有料化`という一部だけを見るのではなく、なぜそれをしなくてはいけないのか、大きな枠で見る必要もあると思いました。
5	内発的行動動機付け。テーマの設定、議論の設定の仕方が重要であること。実戦、行動の変容が発生することが良く理解しました。正しい伝え方、ルール作りなど、普段の仕事でも活かされると思う。
6	私が子供の頃、車道を通る車からコーヒー缶やタバコの吸殻が捨てられたり、その辺に歩きながらゴミを捨てる人たちが多かった。皆がやっているから良いんだという意識であったと思う。もちろんそれらのゴミを拾う地域の大人の方もいました。そういった過去から比べると現在、環境美化に対する意識は高まっているのだと思います。しかし、もっと多くの方々が意識を高めるきっかけ、行動に移るきっかけ、その行動心理について学ぶ機会になりました。
7	ちょっとした働きかけで行動を変えることができる。
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大沼先生すばらしいお話でした。</li> <li>・社会的ジレンマ（放っておいたら協力しないのが当たり前）。</li> <li>・エネルギーCO2排出（電気、灯油、ガス）内発的動機付け。</li> <li>・アクションリサーチ（ゴミ改善のため）あいさつ活動条件。</li> </ul> <p>*今うちのマンションもゴミステーションがぐちゃぐちゃなんです。どうしたら改善されるかヒントに興味津々。</p> <p>（栃木県では生ゴミを分別しています。新聞でくるんで有料ゴミ袋に入れていました）</p>
9	札幌市ごみ有料化（2009年）の際は環境局で直接市民への説明会に関わる業務でした。行動に移るきっかけづくりの基、市民との協働で実施した事業だったことが改めて分かりました。環境に関わることだけではなく、他の仕事に活かしたいと思います。（継続する仕掛け作り）
10	とても爽快感があるお話し。働きかけがあったときは効果があっても、10年20年のながいスパンで考えると引き続きやっていくことで効果が持続されるのが分かった。みんなが協力して得られる効果は個人で得られるものよりもっと大きな喜びが生まれると思った。ありがとうございました。
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的コスト～協力しやすい制度。</li> <li>・エネルギーを「作る」を考えると同じく「使う」を考える。</li> </ul>

12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行動を継続に結びつけるために内発的動機付けが大切だということ。 「やってみると面白い」キーワードですね！ 危機感をあおったり、説教したり、ポイントや金額的なものではない。</li> <li>・ 調査をしっかりと行った上での制度設計の精度で、行動の成否が決まるのだなと思いました。</li> <li>・ 意見交換は正しいルールを伝えるより、意見を聞き出すのが大事。</li> <li>・ これからは生ゴミの分別の仕方を考えないと、というお話し、知らなかったです。市民としても、もっと意識を持ちたいです。</li> </ul>
13	<p>社会的ジレンマという言葉で「自分ひとりくらい」の心から面倒くさいが面白くなるという心の持ちように変わるのには市民参加を考えることで理解が得られるということ。レジ袋やゴミ袋など身近な問題で大変良かった。</p>
14	<p>「行動システム科学」のお話し、とても面白かったです。ひとが行動に移るきっかけは命令などではなく、楽しいから”「内発的動機付け」に勝るものはなにもですね。これからはいつもそこを考えて行動したいと思います。</p>
15	<p>一方が説明し続けて頭ごなしに言うのではなく、会話しながら互いに理解しながら話を進めていくことができれば成功するというお話もあり、面白かったです。自分ひとりくらいと思いがちではありますが、動機付け、やってみると楽しいと思えることは大事だと思いますし、自分もそうなっていけたらと思います。また、周りの人にも呼びかけたいと思いました。</p>
16	<p>社会的ジレンマについて学ぶことができました。このジレンマは一方の視点からによる行動ではうまくいきにくくて、周囲の人々と協力して社会全体の意識から変えていかないとならないかもしれないと思いました。</p>
17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゴミの分別収集は札幌市民にとっては当たり前のことと受け入れています、それまでの過程がいろいろあり勉強になりました。</li> <li>・ 生ゴミの堆肥化、ぜひ実用化して欲しい。毎年スーパーで家庭用菜園用土を購入している人が沢山います。</li> </ul>
18	<p>レジ袋の有料化の話から、行政から一方的に法律や条例にしばったり、「正直者が馬鹿を見る」というような解決の仕方では成果として表れない。 双方向でコミュニケーションから制度作りをすることが大切だということは、社会的な制度ばかりではなく、小さなグループや家庭内においても有効に問題を解決する手段として参考になった。 時間がかかっても、構成員がお互いに納得した形で皆のベストな形に”落としどころ”を持っていくという事、これから心がけていきたいと思っています。</p>
19	<p>行動するきっかけと行動が長続きすることとは違う。長続きには内発的動機付けが必要というのは理解できる。市民参加によって計画の中に特に身近、一般的な市民の参加があり、共同参加が増え、多くの人に伝わる。これはわかり易いが成功例が少ないのが残念である。町内でも役立つと思う。</p>
20	<p>協力しやすい制度作りなど、行動に働きかける時の工夫がごみ有料化のときにいろいろあったのだと改めて感じました。もっといろいろな事例を聴きたくくなりました。</p>